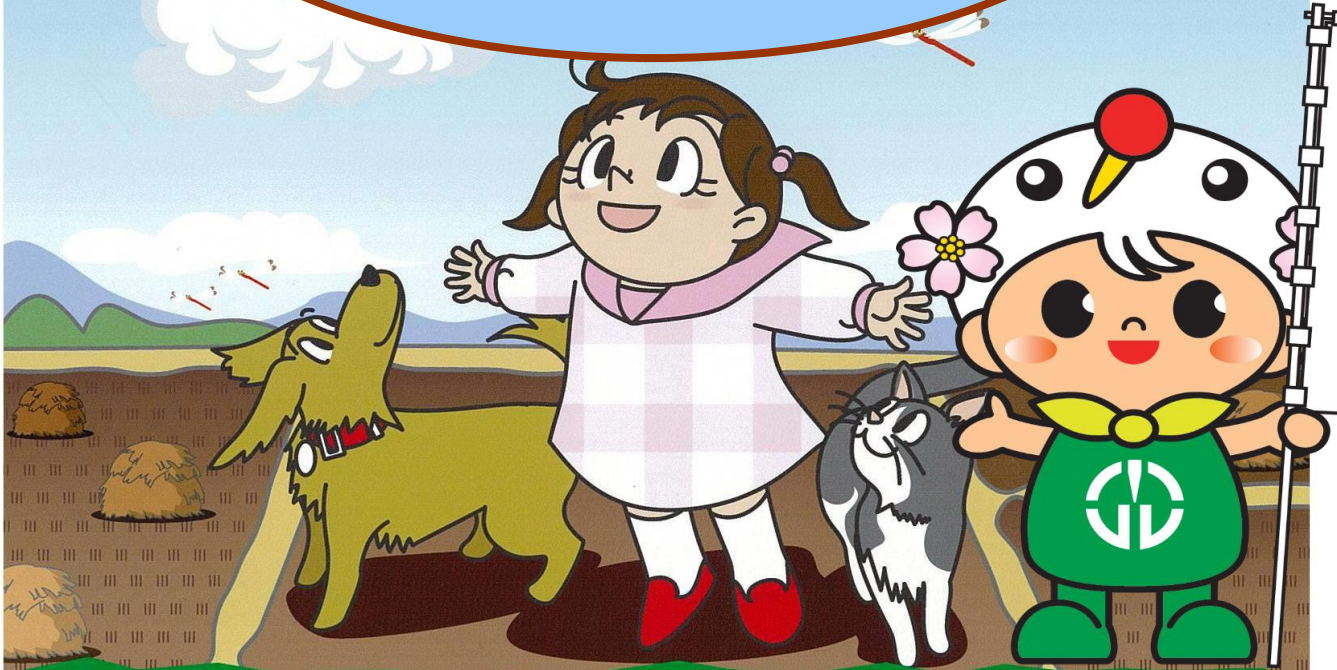


お願い! 稲わらを焼かないで!!

わら焼き シャットアウト!

稲わらは有効活用
しましょう!



わら焼きはみんなの迷惑! 稲わらは「土づくり」に活用してリサイクル。



鶴田町

「青森県稲わらの有効利用の促進及び焼却防止に関する条例」が平成22年6月に施行されました。稲わらを焼却処分せず有効利用することは「農業者の責務」です。稲わらは、堆肥にしたり、すき込むなどして有効に活用しましょう!

水稻の出穂状況と刈取時期の予想

出穂状況

市町村	始 (月日)	盛期		終 (月日)
		(月日)	(平年差)	
鶴田町	7月30日	8月2日	早1日	8月7日

刈取時期の目安

刈り取りが遅れると、胴割れ・茶米・奇形粒などの発生が多くなります。
表を参考に、自分の水田の状況を見ながら、刈取時期を判断しましょう。

籾の黄化程度	ほ場全体の籾が、90%程度黄化した時期
枝梗の黄化程度	枝梗の2/3程度が黄化した時期
青未熟粒の混入割合	青未熟粒の混入率(1.9mm選別、重量比)が、10%程度まで減少した時期
籾水分	25～26%程度まで減少した時期
出穂後積算気温※	青天の霹靂:900～1,100℃ つがるロマン:960～1,150℃ まっしぐら:960～1,200℃

※出穂後積算気温:出穂期の翌日から毎日の平均気温を積算した値

積算気温からみた刈取期間の目安

出穂期	7月30日	8月2日	8月4日	備 考
900℃	9月7日	9月10日	9月17日	「青天の霹靂」の始期
960℃	9月10日	9月14日	9月16日	「つがるロマン」「まっしぐら」の始期
1,100℃	9月17日	9月21日	9月23日	「青天の霹靂」の晩期
1,150℃	9月19日	9月24日	9月26日	「つがるロマン」の晩期
1,200℃	9月22日	9月27日	9月29日	「まっしぐら」の晩期

8月31日までは本年値、それ以降は平年値を使用(五所川原アメダス)

稲わら有効利用で美味しい米を！

稲わらは貴重な有機質資源です。堆肥にするなど有効に利用しましょう。
稲わらを毎年すき込むと、堆肥と同等の効果が期待できます。
地力を高め、美味しい米を生産しましょう！

稲わらすき込み田の管理

- 初期生育は劣りますが、秋まさり的な稲となります。
- すき込み時期は秋を基本とし、石灰窒素など腐熟促進剤を施用しましょう。
- 代かき時は水深を浅めにし、稲わらを土中に埋め込みましょう。
- ガスが発生しやすいので、気象条件に応じた適正な水管理や、中干し・溝切りを行い、土に酸素を供給しましょう。
- 基肥窒素量の目安

稲わらすき込み状況	基肥窒素量の目安
連用2～3年目まで	慣行より5～10%増やす
連用3～4年目	慣行施用量と同量
連用4～5年目以降	慣行より5～10%減らす

農作業 焦らず、急がず、慎重に！